

KELLY

車内置き去り防止音声支援システム〈園バス向け仕様〉

ミナテラス

KLE-119

取扱説明書

保証書付き 裏表紙に
あります

	もくじ	ページ
はじめに	はじめに	2
	安全上の注意	3
	ご使用上のお願い	4
使い方	ご使用方法	5
	装置の説明	8
	お手入れ	10
困ったとき	故障かなと思ったら	11
	仕様	13
	保証とアフターサービス	14

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「はじめに」と「使い方」の章を必ずお読みください。この取扱説明書（保証書付）は、保証書欄に必要事項を記入し、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

はじめに

本製品について

送迎用バスに備える車内の乗員の置き去りを防止する行為を支援するための装置で、降車時に幼児らの所在の確認が確実に行われることを目的としたものです。エンジンをオフにすると、バスの後ろまで乗員の降車を確認するようアナウンスが流れます。車両後方に設置した降車確認ボタンを押すとアナウンスは終了します。なお、アナウンスが流れ始めて15分経っても降車確認ボタンが押されない場合は、乗員が置き去りにされている可能性がありますので、車外に向けて子供救助アラートが流れます。子供救助アラートも降車確認ボタンを押すことで終了します。

⚠ 警告

このシステムは、乗員の降車を確認する行為がヒューマンエラーによって妨げられないように支援する補助的なものです。確実に観察してすべての乗員の降車を確認することは人が行わなければなりません。降車確認スイッチを押すことが目的とならないよう、意識して降車確認を行ってください。



国の定めるガイドライン適合のための規定

- ・本装置を販売または取り付けを行うものは、必ず使用する前にこの取扱説明書の内容を送迎バスの管理者などに対してよく読み内容を理解しなければならないことを申し伝えなければなりません。
- ・本装置は、無線送信または検知波の発信を行いません。
- ・本装置が自動車に取り付けられた状態において、その車両は道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第76号）の技術上の基準に適合しております。
- ・本装置は、作動を停止している際に自動車の性能に影響を及ぼす恐れがないものであり、かつ、安全な運転に影響を及ぼす恐れがないように設計、製造されております。
- ・本装置は、自動車に取り付けられた状態において、当該装置の故障またはその電源の故障により、自動車の安全な運転に影響を及ぼす恐れはありません。装置の電源配線とそれにつながるバッテリー電源（付近）にヒューズを設置する仕様となっており、万一本装置が故障した場合でも本装置より先へは電気的な影響が及ばないようにしております。
- ・本装置は、運転手等が容易に動作を停止できないように設計されております。電源はバッテリーに直結しており、また、作動をオンオフする電源ボタンは備えておりません。バッテリーから電源が供給される限り機能は継続します。
- ・本装置及び構成部品（装置全体）は、運転手等の誤操作等により簡単に壊れる設計ではありません。なお、乗員のいたずらに対しては、本装置を低年齢の乗員にわかりやすく理解できるように物語（付属資料「物語 子ウサギと太陽さんとお月様」）を提供しており、乗員が装置を大切に扱うように導入を行うことができるよう配慮されております。
- ・本装置に使用するリード線及び端子等の接点材料は、車載用（JIS C 3406、D5403）を満たす材料を使用しています。
- ・本装置は、装備させる自動車の電気回路の電気特性への悪影響がないように、本装置から電気的影響が外部に放出しないような回路を設計しております。
- ・本装置は、IEC 68-2-30-1980 に基づいた対候性を備えています。

安全上の注意

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示内容を無視して取り扱いを誤った場合に生じる可能性のある項目を以下のように表記しています。以下の内容をよく確認したうえで、本文をお読みください。

 警告	「誤った取り扱いにより、使用者などが死亡または重傷*を負う危険性が大きい内容」を示します。
	「してはいけないこと（禁止事項）」を示します。
<注意>	「製品が破損したり、正常に動作しなかったり、性能を発揮できないこと」を示します。
[参考]	「知っておいていただきたい知識、知っておくと便利な知識」を示します。

重傷*とは、失明やケガ、やけど（高温/低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症をもたらすもの及び治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

注意事項

⚠ 警告



分解や改造をしないでください。（故障時など）

やけど・火災・感電・けが・故障の原因となります。分解や改造を行った場合は、保証が受けられなくなる場合があります。



12V 車、24V 車以外には使用しないでください。

やけど・火災・感電・けが・故障の原因となります。



-30℃～+65℃の範囲内の環境下で使用してください。

直射日光当たる場所、排熱のある場所（ラジエター回りなど）や-30度を下回るような環境下でのご使用は故障の原因になります。そのような環境下ではご利用いただけません。



個人で取付しないでください。電装店に取り付けをご依頼ください。

お客様ご自身で取付したものは保証の対象外となります。

ご使用上のお願い

<注意>

以下の行為は故障の原因となりますのでご注意ください。

- 車内用装置（本体装置、降車確認ボタン、子供救助アラートスイッチ）は水をかけてはいけません。
- 車外用装置（子供救助アラート）に、ウォーターガンで強い水圧をかけないでください。タイヤの水しぶきがかからない位置に設置してください。強い水圧の水がかかると故障の原因となります。
- すべての装置に対して、汚れ落としなどの目的にオイルや洗浄液を付けしないで下さい。破損や故障の原因になります。ひどい汚れの場合は、水にぬらして固く絞った布などでふき取ってください。
- 車外用装置（子供救助アラート）は、車の前側に取り付けるとき 45 度以上下向きに傾けて取り付けてください。走行による強い風圧がかかると故障の原因となります。
- 本製品を強くたたき、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。

異常発生時は、お客様自身による修理は絶対におやめください。「故障かなと思ったら」の項目（p.11）に従ってご対応ください。お問い合わせは、お買い上げの販売店、取り付け店または弊社お客様ご相談窓口までご相談ください。

ご使用方法

操作要領

1. エンジンの始動

エンジンをかけてください。エンジンをかける（イグニッションオン）と次のアナウンスが流れます。

「(ポーン♪) 思いやりの送迎をお願いします。」

「(ポーン♪) システムは正常です。」

<注意>

このアナウンスが流れない場合、装置が故障している可能性がありますので、「故障かなと思ったら」の項目（p.11）に従ってご対応ください。

2. 降車確認アナウンス

エンジンを切ってください。エンジンを切ると次のアナウンスが流れ、乗員の降車を確認するようお知らせします。（降車確認アナウンス）

「(ポーン♪) パーキングブレーキをしっかりとかけ、すべての園児が降車したことを確認してください。忘れ物はありませんか。車両の後ろまで確認してスイッチを押しましょう。」（下線部を繰り返し再生します）

3. 降車確認アナウンスの終了

降車確認アナウンスが流れている間に、乗員座席側に回り隅々まで確認しながら車の後ろまで見回りすべて確認を終えてから降車確認ボタンを押します。

（所要確認作業時間 5 分程度）

降車確認ボタンを押すと降車確認アナウンスが終了し、降車確認完了ジングル（メロディ）が流れます。

[参考] エンジンオンでもアナウンスが解除になります。

4. 確認時間が 15 分以上経過した場合（子供救助アラートの開始）

降車確認アナウンスが流れ始めて 15 分が経過しても、降車確認ボタンが押されない場合、万一取り残された子供が、熱中症になる危険があるため車外に向けて子供救助のための次のアラートが再生されます。

「(ファーンファーンファーンファーン!) [中に子供がいます。助けてください。(ピピピ、ピーピーピー、ピピピ)] × 2」（繰り返し再生します。下線部

は SOS（救助信号）です。）

また、子供救助アラートが再生中、室内では次のアナウンスで子供への声掛けと救助者に向けてアラート解除動作のお知らせを行います。

「(ポーン♪) 誰かが来ます。待っててね」×2回(初回のみ再生)
 「(ポーン♪) 大丈夫かい？今助けを呼んでいるからね。」×2回(以下繰返再生)
 「(ポーン♪) アラート停止は、エンジンをかけるか、車両の後ろまで確認してスイッチを押しましょう。」×2回

5. 子供救助アラートと降車アナウンスの終了

降車確認アナウンスが流れ始めて 15 分が経過して子供救助アラートが流れ始めた場合、車内の降車確認ボタンを押すとアラートは終了します。同時に降車確認アナウンスも終了し、降車確認完了ジングルが流れます。

[参考] エンジンオンでもアナウンスとアラートが解除になります。

緊急時に子供救助アラートを鳴らす

万一子供が車内に閉じ込められた場合、車内に設置した子供救助アラートスイッチを押すと、車外に子供救助アラート(※)が発します。子供救助アラートスイッチでアラートを発した場合は、スイッチをオフ^[参考]にすることでアラートが終了します。(※) 項目 4 の子供救助アラートと同じ内容のアラートです。

また、子供救助アラートが流れているとき、室内では次のアナウンスで子供への声掛けと救助者に向けてアラート解除動作をお知らせします。

「(ポーン♪) 大丈夫かい？今助けを呼んでいるからね。」×2回(以下繰返再生)
 「(ポーン♪) アラートは救助スイッチオフで解除できます。」×2回

※ 室内アナウンスが流れる前に、救助アラートスイッチの故障のアナウンスが流れますが、救助アラートスイッチが断線 / 故障 / ロックオンした場合、同じ動作となります。故障ではありません。

<注意> 子供救助アラートスイッチで子供救助アラートを鳴らした場合、降車確認ボタンではアラートは解除できません。

<注意> 子供救助アラートスイッチはエンジンオフの時に使用できます。エンジンがかかっているときは、押しても子供救助アラートは鳴りませんのでご注意ください。

[参考] 子供救助アラート用スイッチには回転解除式スイッチを採用しています。スイッチをオフにするには右回りに回してください。

[参考] 必要な時に子供が救助スイッチを押せるように、「子ウサギと太陽さんとお月様」の物語を有効にご活用ください。

<注意>

本装置はボタンとスイッチ以外に使用者が操作する部分はなく、これら（降車確認ボタン、子供救助アラートスイッチ）を正しく使用する場合、エラー等が発生しないように作られています。必要な場合にのみ操作してください。用途以外でのボタンの使用は、故障の原因となりますのでご注意ください。

園児への装置の説明

付属のリーフレットにある「子ウサギと太陽さんとお月様」の物語を園児にお話しとして聞かせてから、子供救助アラートスイッチは「太陽さんのスイッチ」だから助けが必要な時にだけ押すことを、設置されたスイッチを見ながら、園児に教えてあげることができます。

同じように降車確認ボタンは「お月様」だからみんなを見守ってくれているので触らないでおくものだと教えてあげることができます。

また、ステータスディスプレイは「お星様」ということにして、「チカチカ瞬いていたら教えてね」という風に、故障を(点滅点灯)子供たちからも指摘してもらえるようにしておけば、子供たちも含めてみんなで置き去り防止に取り組むことができます。

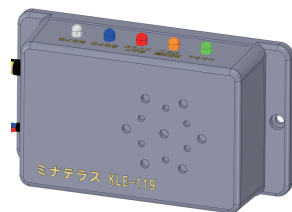
なお、これらはご利用の仕方の一例です。この限りではなく、工夫してお使いください。

装置の説明

各装置の説明と取付場所

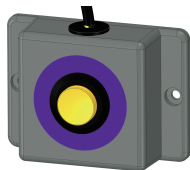
1. 本体装置 / ステータスディスプレイ

室内アナウンスはここから発します。
運転手だけでなく送迎するスタッフにも見える位置に付けてください。
(例) 車両後部の天井付近にステータスディスプレイがバックミラーで確認できる角度で取り付け。



2. 降車確認ボタン

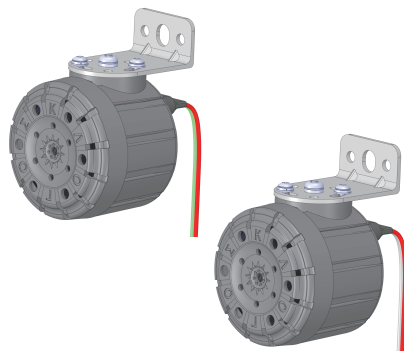
降車確認アナウンスを停止するボタンです。車両の後方に取り付けます。
(例) 車両後部の天井付近の子供の手に触れにくい場所に取り付け。



3. 子供救助アラート

車の外で子供の救助を求めるアラートを発するスピーカー装置です。民家、公道など人通りのある方向に向けて取り付けます。2台ありますので、車を置く場所に合わせて効果的に配置してください。

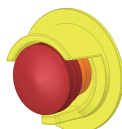
(例) 車両前方、後方に各1台ずつ設置。



4. 子供救助アラートスイッチ

子供の救助を求める車外アラートを発するためのスイッチです。室内の子供の目に触れる場所で、小さい子供でも容易に手の届く場所に設置します。

(例) リアドア（室内側）の低い場所。



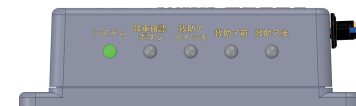
ステータスディスプレイの表示

1. 装置が正常状態のときの表示

エンジンオンのときすべてのLEDランプが点灯（常時点灯）します。



エンジンオフのとき、緑のランプが点灯（常時点灯）し、他はすべて消灯します。



2. 装置が異常状態のとき表示

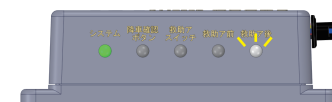
エンジンオンのとき、異常状態の装置のLEDランプが点滅します。正常状態の装置のランプは点灯。

(例) 降車ボタンに異常があるとき



エンジンオフのとき、緑のランプが点灯し、異常状態の装置のLEDランプが点滅します。本体装置（緑ランプ）以外の正常状態の装置のランプは消灯。

(例) 救助アラート（後ろ取付）に異常があるとき



<LEDランプ（表記）と装置の対応>

緑ランプ（システム）：本体装置
 橙ランプ（降車確認ボタン）：降車確認ボタン
 赤ランプ（救助アスイッチ）：子供救助アラートスイッチ
 青ランプ（救助ア前）：子供救助アラート 前方取付
 白ランプ（救助ア後）：子供救助アラート 後方取付

お手入れ

お手入れの仕方

1. お手入れする場所と方法 <頻度：毎日>

- ① エンジンをオンにします。「思いやりの送迎…」のアナウンスが流れることを確認します。
(以下このままエンジンをオンにした状態で確認します)
- ② ステータスディスプレイのすべてのランプが点灯していることを確認し、本体装置に汚れや傷などがいないかを確認します。汚れは乾いた布などできれいにしてください。
- ③ 降車確認ボタンを2秒以上長押し状態にし、ステータスディスプレイの橙色ランプが点滅しアラーム音「ピピピッ」が鳴ることを確認します。
降車確認ボタンに汚れや、ボタンを押すときの引っ掛かりや固着がないかを確認し、外側から取れる範囲の汚れを乾いた布でふき取ります。
(降車確認ボタンを押す場所からステータスディスプレイが見えない場合は、2人で行ってください。下記の子供救助アラートスイッチも同様です。)
- ④ 子供救助アラートスイッチを押し、ステータスディスプレイの赤色ランプが点滅しアラーム音「ピピピッ」が流れることを確認します。確認後は、スイッチを右に回してオフにします。
スイッチの押し具合に異常がないか確認します。汚れなどがあれば乾いた布でふき取ります。
- ⑤ 車外に取付してある子供救助アラートのスピーカー面(穴が複数空いている面)にごみや汚れが付着して音を遮るようであれば、水にぬらして固く絞った布などで優しく汚れを落としてください。



この時、高圧洗浄機などの強い水圧の水を当てないでください。

すべて問題なければお手入れ完了です。

2. 子供救助アラートの動作確認 <頻度：半年に1回程度>

- ① エンジンをオフにして、子供救助アラートスイッチを押します。
- ② 故障/断線アナウンス(p.11 参照)の後、車外でアラートが流れますので、適切な音量で再生されることを確認します。確認できたらスイッチをオフにして終了です。
<注意>大きな音が車外で鳴るので周囲に配慮して行ってください。

故障かなと思ったら

検知可能な故障の範囲

この装置は配線の断線等の異常を検知し、本体装置についているLEDランプと音声アナウンスによって次のようにお知らせします。

異常を示すステータスランプと対処の仕方

対象装置	ステータス ディスプレイ 状態	故障アナウンス	対処方法
本体装置	緑色 ランプ 消灯	エンジン始動時のアナウンスが流れない	エンジンがかからない場合はバッテリー上がりを確認してください。エンジンがかかる場合、見える範囲で断線があるかを確認します。 断線があれば、取り付け業者に連絡して修理してください。 断線がない場合は、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
降車確認ボタン	橙色 ランプ 点滅	「(ポーン♪) 降車確認ボタンが断線または故障しています」(2回再生) 以降はアラーム音「(ピピピッ♪)」が繰り返す	① 見える範囲で断線があるかを確認します。 断線があれば、取り付け業者に連絡して修理してください。
			② スイッチが固着していないか確認する。 断線がない場合または固着があるとき、お客様ご相談窓口にご連絡ください。 本体のコネクターを外して機能を停止してください。
子供救助アラートスイッチ	赤色 ランプ 点滅	「(ポーン♪) 救助スイッチが断線またはロックオンしています」(2回再生) 以降はアラーム音「(ピピピッ♪)」が繰り返す	① 見える範囲で断線があるかを確認します。 断線があれば、取り付け業者に連絡して修理してください。 ② スイッチがロックオン(オン状態)になっていないか確認します。 ロックオン状態の場合スイッチを右周りに回して解除します。 <注意>スイッチが故障/断線している場合、救助アラートがエンジンオフ時に再生し続けます。本体装置のコネクターを外して機能を停止してください。
子供救助アラート(車両の前側取付)	青色 ランプ 点滅	「(ポーン♪) 救助アラート前が断線しています」(2回再生) 以降はアラーム音「(ピピピッ♪)」が繰り返す	見える範囲で断線があるかを確認します。 断線があれば、取り付け業者に連絡して修理してください。 断線がない場合は、お客様ご相談窓口にご連絡ください。 本体のコネクターを外して機能を停止してください。
子供救助アラート(車両の後側取付)	白色 ランプ 点滅	「(ポーン♪) 救助アラート後ろが断線しています」(2回再生) 以降はアラーム音「(ピピピッ♪)」が繰り返す	見える範囲で断線があるかを確認します。 断線があれば、取り付け業者に連絡して修理してください。 断線がない場合は、お客様ご相談窓口にご連絡ください。 本体のコネクターを外して機能を停止してください。



ステータスディスプレイが異常を示しているとき、降車確認システムは一部または全部の機能が作動しません。症状を確認後、対処法で改善しない場合は本体装置のコネクターを外して機能を停止し、カスタマーサービスへご連絡ください。

<注意>

故障アナウンスは、エンジンがオンになった際、正常動作アナウンス (p.5) が流れるタイミングでそれに代えて流れます。その後は、エンジンがオフになった後も LED ランプの点滅とアラーム音とで故障を知らせます。エンジンが再びオンになる度にアナウンスは流れ、言葉で異常をお知らせします。

ステータスディスプレイの設置場所は、車両の後方で LED ランプが運転席のバックミラー越しに見える場所に設置し、運転手と送迎スタッフの両者が確認できるようにしてください。

その他のトラブル

降車確認ボタンを押してもアナウンスが止まらない	<p>ボタンの故障なので、降車確認ボタンをコネクターから外して、故障内容をお客様ご相談窓口にご連絡の上お送りください。</p> <p><注意>降車確認ボタンのコネクターを外さなければ、降車確認アナウンスが解除できませんので、救助アラートが15分後に車外で鳴り始めるのも止めることができません。コネクターを外すとアナウンスは止まりますので、必ず外すようにしてください。</p>
子供救助アラートスイッチを押してもアラートが鳴らない	<p>救助アラートスイッチの故障です。スイッチをコネクターから外さずに、お客様ご相談窓口にご連絡ください。</p> <p><注意>スイッチを外すとアラートが再生するので外さずにご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 警告 万一の際に、救助アラートがスイッチによって作動しません。いち早くご対応頂きますようお願い申し上げます。</p> </div>

仕様

定格電圧	DC12V / DC24V
使用電圧範囲	DC9.6V ~ DC30V
使用温度範囲	-30°C ~ 65°C
保存温度範囲	-40°C ~ 65°C
防水防塵性	本体装置・降車確認ボタン・子供救助アラートスイッチ：IP40相当 子供救助アラート（車外取付け）：IP66相当
音圧レベル	室内アナウンス：80 ± 5dB 子供救助アラート（1台）：90 ± 5dB
耐振動性	8 G ※ JIS1601の試験内容に基づく
暗電流	30mA未満 ※ 断線等の不具合を監視するため暗電流が流れます。バッテリー上がりには影響しないレベルです。

注：仕様は製品の改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口e-mail info@kelly-el.co.jp

TEL 03-3667-8691



受付時間 9:00 ~ 16:00 土・日・祝日・弊社休日を除く

本製品についての情報ページ

ご利用中困ったときなどにご参照ください。

<https://kelly-el.co.jp/kle-119-info>**ケリー電気産業 株式会社**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-9-5

保証書

保証規定（必ずお読みください）

1. 事前に把握しておくこと

本製品を設置する送迎バスの管理者等は、使用する前に必ず次の説明を受け十分その内容を把握しなければなりません。

- イ) はじめに (p.2) ロ) ご使用上のお願い (p.4)
ハ) ご使用方法 (p.5) ニ) 装置の説明 (p.8)
ホ) お手入れ (p.10) ヘ) 故障かなと思ったら (p.11)

2. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証機関と条件に従って無償修理（保証修理）を受けることができます。（以下、この無償修理を保証修理と言います）

保証修理は部品の交換、あるいは製品の交換により行います。保証修理に使用された部品・製品は弊社の所有となります。

3. 保証期間・保証修理の受け方

1) 保証期間

保証修理の受付期間は、お買い上げ日から「18 か月」とします。

2) 保証修理の受け方

お買い上げいただきました販売店にこの保証書をご提示のうえ保証修理をお申し付けください。ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

4. 保証しない事項

1) 保証期間内でも月のような場合には保証修理いたしません。

イ) 取扱説明書に記載されている「警告」「注意」そのほか記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。

ロ) 使用上の誤り・お手入れの不備などによる故障または損傷。

ハ) 車両の電気装置設置を業務とする専門店以外によって点検・修理・分解・改造したものの。ただしコネクタの取り外し及び「故障かなと思ったら」の項目に記載のある点検はこの限りではありません。

二) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障

または損傷。

ホ) お買い上げ後の落下・衝撃・強い水圧（高压洗浄機、ウォーターガンなどの使用）・強い風圧（車の正面方向に45度以上傾けなしで使用）などによる本体内部への水侵入による故障または損傷。

ヘ) 火災・自身・風水害・落雷・そのほか天変地異や公害・塩害・異常電圧・異常気象・事故などによる障害または損傷。

ト) 装備可能な車両以外に搭載したことによる故障または損傷。

チ) 本製品以外の故障などに誘発された故障または損傷。

リ) ご使用によって生じる外観・美観・摩擦・色褪せなどの外観上の現象。

ヌ) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

イ) 商品を使用できなかったことによる不便さ及び損失等。
ロ) 本製品の故障・修理などにもなう二次的損害に対する補償。不具合品の取り外し、代替品の取り付けにかかった費用も含む。

ハ) 消耗部品（3A、5A ヒューズ）の部品代及び交換工賃。

5. 保証の発効

保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

6. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。（This warranty is valid only in JAPAN）

7. 出張修理について

出張修理の場合は出張に要する費用を申し受けます。

8. その他

この保証書は本書に明示した機関、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によって保証を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間満了後の修理などについてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様	お名前		取付した車両の車体番号	
	ご住所	〒 - TEL ()		
	お買い上げ日から18か月	販売店名・住所・電話・捺印		
お買い上げ 年 月 日	年 月 日			